

# 個人山行報告

12月25日 雪彦山

黒崎 高生

山名	雪彦山	山行名	個人山行
ルート	登山口～大天井岳～地蔵岳～雪彦山～鉾立山～ジャンクションピーク～登山口		
山行日	2021.12.25 (土)	天候	晴のち曇り
参加者	CL: 黒崎 SL: 玉置 永井、木田 合計: 4名		

ルート概略図		コースタイム				
		地名	時: 分	地名	時: 分	
	京田辺	発	06:00	雪彦山	着	12:12
					発	12:15
	雪彦山登山口	着	08:10	鉾立山	着	13:05
		発	08:30		発	13:10
	大天井岳	着	10:08	ジャンクション ピーク	着	13:17
		発	10:15		発	13:14
	地蔵岳	着	11:03	雪彦山登山口	着	14:57
		発	11:10	京田辺	着	19:00

12月14日山行部会終了後、25日に雪彦山に誘われ即答してしまっ。25日といえは楽しいはずのクリスマス・・・家にも暇で邪魔な4人(笑)で急遽行くことになり計画した。

前週の寒波で雪がかなり積もっていたが、この一週間の間ではほぼ融けたと思われ実行した。前日の天気予報は、曇り。予想気温が4℃から-2℃だったが山頂付近は多少風があったものの午前中は天気も良く絶好の登山日和となった。

登山口で準備体操を実施後SLに先頭を任せ、分岐では現在地と進行方向を確認してもらいながら出発する。いきなり根っこの急登が続くが登った先の展望岩からは大天井岳、地蔵岳、雪彦山が見える。大天井岳までは出雲岩、視岩、見晴岩、セリ岩がありロープや鎖が続く岩道を進み山頂で一休み(本日はバッチ売りのおじいさんはいませんでした。)地蔵岳に行く前に天狗岩(地元の方に天狗岩での練習を進められ)に登り地蔵岳のお試しをした後、上級コースで鎖とロープを使い(ワイワイ、ガヤガヤ、怖い怖いと言いながら)慎重に且つ楽しんで降りる事ができました。いよいよ地蔵岳へ登ります。天狗岩で練習したので足場を確認しながら登り、その後上級コースを登って戻り雪彦山へ

雪彦山は特に眺望もないので写真だけ撮って素通りした。

鉾立山では遠く雪の氷ノ山まで見えた。ジャンクションピークも眺望がなかったが100m程過ぎた所では生駒山から淡路島等々が、うっすらと見えて楽しむことができ、ほぼ計画通りに下山できました。

令和3年今年最後の山行となりました。参加の皆様ありがとうございました。

秘湯 雪彦温泉の姫路おでん、美味しかったです。

ヤママップ記録 距離: 約7km タイム: 6時間27分(休憩含む)

ヒヤリハット: なし

## 雪彦山感想文

玉置 安世

以前の例会で行けなかった雪彦山。寒波到来で雪になるかもとアイゼン準備。アイゼン着けての岩場はパスしようと思っていたら雪も降らず安堵する。登り初めはいきなりの急坂。大きな岩も出現。赤ペンキで岩に書かれた矢印に心も踊る。クライミングのメッカだけあって岩また岩、鎖の連続。あまりに体力を消耗しすぎて足に手に力が入らない。地藏岳へは岩場のほぼ垂直な下り。やっこさ登頂。景色がいい。疲れも吹っ飛ぶ。また垂直な岩場を登り、雪彦山にむかって進む。雪彦山は展望もなく、ジャンクションピークにいたっては標識もない。変な名前をつけたもんだ。先週降った雪がまだ残っている。帰りはたくさんの滝も見ながら、でも気の抜けない下り。

下山後のお約束の温泉におでんが待っていた。1年の締めくくりにふさわしい山行でした。同行して頂いた方々本当にありがとうございます。たくさんたくさん助けて頂きました。ご迷惑をおかけしました。

クロさん運転ありがとうございます。また行きたい山です。

永井 繁一

尖った山容の山並みが奥深く続く大天井岳からの風景や雪彦山から望む淡路～大阪湾の景観は、素晴らしかった。また出雲岩、セリ岩、馬の背などは見ごたえ、登りごたえのあるポイントであった。が 一番は地藏岳へ向かう下りルートである。

地藏岳へのピストンは、大天井岳を過ぎた分岐からほぼ垂直に見える岩場を下るのだが、コースが一般と上級者に分かれている。CLさんが鎖で降りる上級者コース（岩表面が一部平滑）をするするっと降りるので、何も考えず後に続いた。が 鎖を掴む握力が次第に無くなり、最後は滑り降りた？落ちた状況だった。帰りの登りはロープを使う一般コースを選び、岩の突起を手がかり足がかりに三点確保を心掛けて登った。登りと降りの違いはあるが、上級コースの難しさを体感した。

地藏岳へのピストンは怖くもあり 楽しくもあり、登り納めに相応しい山行であった。

雪の心配もあったが何とか天気が持ってくれ、下山後は“秘湯雪彦温泉”でほっこり！ご一緒して頂いたみなさん、ありがとうございます御座いました。

おんせんにおでん、おさけのおまけ

木田 修司

雪彦山はどのような山か詳しくは調べていないが、名前に惹かれて長い間行きたいと思っていた。

一昨年 11 月の例会で「雪彦山」が実施されたが、前後の山行に参加していたので機会を逃してしまった。いつかは行きたいと思っていたので、12月の山行部会で kurobee さんに相談すると、年末のクリスマスにもかわらず了解していただき、4名での山行となった。

地藏岳へはクサリと懸垂上下降を必要とする刺激的な岩場も多く、躊躇しながらも覚悟をもってY懸で習ったことを実践した。CLの案内がなければ稜線を歩く単純なハイキングになってしまっていたら。雪彦山の山頂自体は展望もなかったが、雪の鉾立山の後、942mの分岐（ジャンクションピーク）を少し過ぎると、瀬戸内海、大阪湾が見え遠く生駒山地、金剛山地、和泉山脈が展望できた。

下山後は、期待の「雪彦温泉」と「姫路おでん」にビール(ウキスキー)。山・温泉・お酒の三拍子の揃いぶみ！！ 運転も兼ねていただいたCLさんに大々感謝です。

帰りの車内での嗜みもあって、最大の感謝の気持ちを運転席に向かって心の中で手を合わせました。

・・・あわよくば、七種山などの再挑戦も願っていますが (^\_^)



見晴台から大天井岳と地藏岳



出雲岩を見上げる三人衆



覗岩をくぐる



大天井岳



垂直岩を余裕で降りる



地藏岳（地元の案内人？と）



地藏岳先端に立つ!!



雪彦山（眺望なし）



本日最高峰鉾立山から遠くに氷ノ山



秘湯 雪彦温泉